

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和3年度分）

施設	名称	栃木市岩舟農村環境改善センター
	所在地	栃木市岩舟下津原1572-1
	施設内容	農村環境改善センター（多目的施設）
指定管理者	名称	株式会社 観光農園いわふね
	所在地	栃木市岩舟町下津原1585
	主な業務内容	・農産物の生産、販売 ・農産物の直売施設の設置運営 ・観光農園の経営 他

## （1）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
		アンケート数	100件
	利用者意見反映数	10件	8件
	利用案内揭示数	4か所	4か所
	利用者満足率	80%	80.00%
	業務改善数	3件	3件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営の基本方針を従業員全員の共通理解として、業務を遂行しています。</li> <li>・コロナ禍の中、利用者の制限が生じましたが、利用される方々に状況説明を丁寧に行い、サービス面に配慮した対応をしています。</li> <li>・利用者からのアンケートや意見意見箱に投函された内容には、スタッフ間で情報を共有するとともに適切に対応し、改善できる点は、適宜に処理をすすめ、市の所管課に連絡相談しています。</li> </ul>
-----------	---

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内に指定管理者である観光農園いわふね及び栃木市観光協会岩舟支部の事務所が入っており、会議室等の利用者以外も多く出入りする施設である中で、利用者満足率は計画値を達成しており、連携して施設の運営を行っていることが窺える。</li> <li>・アンケート回収数については、昨年度実績57件より30件増加したことは評価できるが、計画値の達成に至っていないため、今後も積極的な声掛け等を実施し、業務改善に繋がりたい。</li> </ul>
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		7,800人		10,291人		
	地域との協働事業数		3回		0回		
	協働等事業者参加数		延べ10人		0人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>・コロナ禍の中、緊急事態・まん延防止重点措置という状況が続いた中でも、定期利用者の活動再開をはじめ、新規サークルの利用および運営母体の関連グループである栃木シティフットボールクラブの定期的なレクリエーション活動があり、利用者の計画値を上回る結果となりました。</p> <p>・協働事業においては、コロナウイルスの感染拡大防止を考え、実施できませんでした。</p> <p>・館内には、地域ゆかりの円仁の資料などを展示するとともに、県内観光地のパンフレットを配置し、市内外から訪れる観光客等への情報発信に努めています。</p>						
施設所管課コメント	<p>・利用者について、昨年度実績の7,910人を大きく上回り、計画値も達成している。指定管理期間中の3年間で利用者8,000人を目標としていたが、目標達成となっているため、コロナ禍という状況を踏まえながらも目標値の再設定等を検討されたい。</p> <p>・地域との協働事業については、本施設運営の基本方針にも掲げるように農業者や農村地域在住者等の交流の場として、三密を回避するような事業展開を検討し、再開できるよう努められたい。</p> <p>・市の新型コロナウイルス感染症対策の方針に則り、開館時間の短縮等について迅速に対応された。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		134,400円	112,603円			
	経費削減率		2%	1.70%			
	見積合わせ実施数		3件	3件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金の徴収を適正に行っています。減免対象者にも同様に対応しています。</li> <li>・夜間時の受付業務を運営母体の社員を専任したことにより、支出面の見直しを図れました。</li> <li>・清掃業務(トイレ掃除含む)や軽微な修繕は、社員が行い経費削減に努めています。</li> <li>・経年劣化による修繕箇所が年々増加している中で、優先箇所を日々の点検で把握して、サービス面の低下に伴わないよう、引き続き経費節減に努めていきます。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業務や軽微な修繕等を自前で実施することにより、委託費の削減等が実現しており評価できる。</li> <li>・利用者がいない時の照明消灯等や複数社からの見積徴収による委託費の精査等を継続し、利用者には不便を感じさせない範囲で、経費削減に努められたい。</li> <li>・施設の経年劣化による必要箇所の修繕は、修繕計画等を作成の上、必要に応じ、市との協議を実施されたい。</li> </ul>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			5人	4人	
	研修会開催数			1回	1回	
	研修会参加数			5人	5人	
	勤務時間数（1人当たり）			40時間／週	40時間／週	
	経常収支比率（令和2年度実績）			100%	19.80%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営に支障がないように人員を配置しています。</li> <li>・受付業務については、同施設内の栃木市観光協会岩舟支部の職員でも対応ができるように提携しています。</li> <li>・業務時間開始前に打ち合わせを行い、スタッフ間での各種情報交換や基本サービスの統一を図っています。</li> </ul>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営を実施していくために、適正な人員配置及び研修がされていることは評価できる。</li> <li>・職員間及び観光協会岩舟支部とも情報を共有し、今後とも連携して業務遂行に努められたい。</li> <li>・経常収支比率が非常に厳しい数値となっているため、経営努力が望まれる。</li> </ul>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全定期点検実施回数			2回/年	2回/年	
	事故発生件数			0件	0件	
	訓練実施回数			1回	1回	
	訓練参加者			30人	30人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常安全点検は、利用者が安全で快適に利用できるよう毎日社員が実施しています。</li> <li>・併設する「いわふねフルーツパークセンター」と併せて防火管理者を定める等、事故防止に努め、消防署員の協力指導の下、消防訓練を実施しています。</li> <li>・個人情報保護法の方針に従い、適切に行っています。</li> </ul>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定点検及び専門的な知識を要する設備点検等について、外部委託し適切な時期に行っている。</li> <li>・施設管理者から、利用者、関係機関、観光協会岩舟支部に通ずる危機管理体制が整えられている。</li> <li>・施設利用者を含めた防火訓練・避難訓練等を実施している。昨今、全国的に自然災害が発生している現状も踏まえ、非常時に迅速な対応ができるよう、職員の危機管理意識の維持に努められたい。</li> </ul>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	12	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	12	12	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	76	76	
総合評価		B (良)	B (良)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

## (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

## ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
資産総額	104,857,586	109,822,815	71,248,227
売上高	169,794,962	124,352,863	157,094,307
経常利益	△51,522,236	△44,172,635	△9,522,978
当期利益	△51,853,336	△44,503,735	△9,732,478
経常収支比率	19.8%	27.7%	48.7%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
経常費用	95,405,316	77,508,388	67,413,107
経常収益	18,878,534	21,492,047	32,807,101
経常収支比率	19.8%	27.7%	48.7%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

経常収支比率は、令和2年度実績の数値になります。企業母体の観光農園が、コロナ禍の状況でフルーツ狩りの来園者の減少を受け、収入が厳しい現実があります。主体となるいちご狩りでは、栽培上必要な重油や・資材等の値上げによる支出が増加する中で、直営化した農産物直売所の売上向上を図るべく、今後も所管課のアドバイスを受け企業努力を重ねていきます。